

訪問レポート 2001.05.26 訪問 株式会社坂口製作所様

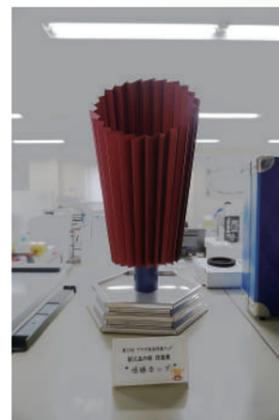
中学校時代にイガーマスクがいた頃からの新日本プロレスファンという坂口社長。インタビュー冒頭からプロレス話に花を咲かせてしまいました。そんな坂口社長の【健康法】は、通勤に自転車を使っているということ。行きは下り坂でも帰りは上り坂。休日には散歩を楽しんでおられるそうです。阿倍野区から梅田まで歩いたこと！！会社の取り組みで「歩こう会」も開催され工場から高野山まで35kmを1日かけて歩いたこともあるそうです！



坂口製作所様はアルミやステンレスの特殊加工を得意とされている企業様です。和歌山県の有田川町に工場があり、従業員 70 名が活躍されています。高い加工技術を持っておられますが、その秘訣は何かを伺ってみました。

返ってきたのは「競技会に参加すること」ということでした。OJT での教育も実施されていますがやはり技術を上げるには競技会に参加することのようです。そこで従業員の方が優勝・入賞することで変化が起こります。

従業員の方が入賞した方へ技術を学んだり、自分自身も競技会に参加したいと切磋琢磨することで意識が向上すると同時に、積極性が上がり技術力の向上にもつながったそうです。



さらに賞を獲得することで、メディアにも取り上げられるようになり新しい人材の確保や企業からの問い合わせにつながったとの事です。地元の若い人材の獲得にもつながり定着率を上げることにもなっているようです。しかし地元の過疎化が進むにつれて、人材の確保が難しくなっている、そんな課題もあるようです。なにやらその課題を解決するために行政を巻き込んでの廃校の再活用プロジェクトも中心となって進められているとか！非常に興味深いですね！



現在は BtoC 向けの商品開発も進められているようです。このアタッシュケースもそうですが、キャンプに使える商品の試作品も進んでいるとか。販路をどう見出すかが課題になっているようです。



PR が苦手からの脱却

強み 裏付けをとる
認定をとる
競技会へ参加

モチベーション UP
地域からの評価も上がる

地域も元気になる！！

今後は環境や健康経営・SDGs への取り組みにも積極的に行い、アルミやステンレスの加工技術を海外に提供していきたいと語って頂きました。坂口社長はいかに自社の技術を伝えていくのか PR を考えておられ競技会での結果が積極的に活動されています。地元の和歌山に貢献したいという思いをもっておられる素敵な社長でした。